

Poland

ポーランド・プログレッシブ・シーンの食飾

Henryk Palczewski

・ロック
下であった。ノ
文化施設のバツ
・シーンたちは
・ロック・
・なのであった。
このムーブメン
・現在にいたって
・しか残ってい
・のプログレッシ
・といえば、チェ
・る。最初、彼は
・て曲を作ってい
・るインプロビゼ
・ロッセンスも取
・の作品もより質
・た。彼は有名な
・とも積極的に仕
・で、SBBという
・エトメンの作品
・Norwid (ポーラ
・1年~1883年。)の
・。ニューメンは
・を伝えようと努
・があまりにもコ
・を走ったため、彼
・、不本意な結果
・スト・アルバム

現が以後のポーランドのニュー・プログレッシブ・ロックを産み出した起因なのである。つまり、バンド自身が独自の表現方法で、彼らの思想、メッセージを伝えるために、自分たちの新しい音楽を創造する傾向になった。我が国において、まさに真のプログレッシブ・ミュージック時代を向かえたのであった。では、いくつかのバンドを紹介しよう。Reportaz (bs, Dr, Key, Bassoon) は、曲の演奏よりも、毎回のステージにおける独特な演出に重点を置いているアートロックバンド。Radio Warszawa (bs, Dr, G, Sax, Vo, Toys, noise) はシアトリカルなロックを演奏する。映像、パフォーマンス、音楽を一体化させたステージは魅力的。Pancerne Rowery (bs, Vo, Dr, G, Key, trumpet, Cello) は、ユニヴェル・ゼロのようなアグレッシブで呪術的な暗く重いサウンドを奏でる。Szelest Szpadajacych Papierkach (Brass, Bs, G, Dr) は、インプロビゼーションを得意とするバンドで、ペビーナリズム体にプラスが絡むサウンドは圧巻である。Vahene (bs, G, Dr, Vo, Tapes) は社会主義を諷刺したインダストリアル・ミュージック。Orkiestra Osmego Dnia (Ac, G, Fl, Fiddle, Fishera, Sax, bs) は哲学的要素を

もあふ。これらのニューグループとともに、前記した70年代初期から活動しているグループもアクティブな活動を続けている。ニュー・メンは映画や演劇の音楽を担当している。サウンドは、完璧なレクタロ・ポップである。SBBは、すでに解散しているが、リーダーのエセフ・スクシェクがワロで活動しており、レクタロニックなコンサートを見ることができる。

現在のポーランド・ロックシーンの中心は、ニューウェーブであり、特に政治的メッセージの強いバンドが注目されている。まったくプログレが支持される現状ではない、我が国の数少ないプログレッシブバンドを見る限り、オリジナルティーが欠如していると思う。どうしても西洋諸国の影響が強すぎて、独自性ある音楽が育つまでにいたっていない気がする。今後のムーブメントに期待したいが、ポーランドではプログレの情報を得ることが難しいのである。もちろん、本誌のような情報誌はない。ほとんどのバンドが学生のクラブ内で活動しているので、詳しい実体が掴めない現状である。学生による代表的音楽組織“Nurt”では、例年数々の革新的なバンドを集めたフェスティバルが開かれる。我々はこのフェス